

タイトル「2020年度 教養教育科目／連携展開科目シラバス」、フォルダ「2020年度 教養教育科目／連携展開科目シラバスー連携展開科目」シラバスの詳細は以下となります。



科目名	子ども・子育て家庭と現代社会I		
担当教員	金川 めぐみ 村田 和子 船越 勝 米澤 好史 谷口 知美		
対象学年		クラス	
講義室		開講学期	
曜日・時限	時間外	単位区分	
授業形態	講義・演習	単位数	2
準備事項			
備考			
科目名(英語表記)	Children child care home and modern society I		
授業の概要・ねらい	家庭・学校・社会における教育の営みと子ども家庭福祉について理解を進めます。さらに、子どもの生活と遊び、子ども理解と発達支援、子どもの貧困等、子育て家庭を取り巻く諸課題について社会的な背景もふまえて理解するとともに、解決に向けての具体的な取り組みについて現場の実践からも学びます。フィールド・ワークを予定していますので、理論と実践から学ぶことができるように進めます。		
授業計画	<p>第1回 4月18日(土) 授業ガイダンス 子ども・子育て家庭の現状と地域社会 村田 和子(地域活性化総合センター・教授)</p> <p>第2回 5月9日(土) 子ども家庭福祉 金川めぐみ(経済学部・准教授)</p> <p>第3回 6月6日(土) 子どもの生活と遊び 船越 勝 (教育学部・教授)</p> <p>第4回 6月27日(土) 子どもの貧困 谷口 知美(教育学部・准教授) ゲストスピーカー 「こ・はうす」馬場潔子氏</p> <p>第5回 7月18日(土)「こどもの理解と発達支援 ～愛着・人間関係支援の視点から～」 米澤好史(教育学部・教授)</p> <p>第6回 フィールドワーク(授業時間外学習についての指示を参照)村田和子(地域活性化総合センター・教授)</p>		
到達目標	現代社会における子ども・保護者・地域社会について理解する。 家庭・学校・社会における教育の営み、家庭教育福祉について認識を深める。 市民社会の形成者の一人として、子ども・子育て家庭における諸課題の解決に向けた取り組みを知り、理解することができる。		
成績評価の方法・基準	出席点(50点)、レポート(50点)で評価します。		
教科書	特に定めません。		
参考書・参考文献	適宜提示します。		
履修上の注意・メッセージ	社会人とともに学び、意欲ある学生の参加を期待します。		
履修する上で必要な事項	特になし。		
履修を推奨する関連科目			
授業時間外学修についての指示	第6回のフィールドワークとして岸和田市内の子ども・子育て関連施設のフィールドワークを予定しています。日程内容詳細は、第1回目のガイダンスで説明します。		
その他連絡事項	後期科目として「子ども・子育て家庭と現代社会II」を開講予定です。学部生は、本前期科目を履修しないと、後期科目を履修することはできません。		
授業理解を深める方法	(2)PBL学習 (3)発見学習、体験学習、反復授業 (4)普遍的な正答や定型的なモデルが存在しない題材に対し、学生自らが合理的な解を導き出す学習 (9)複数の領域にまたがる解法を必要とする学習		
オフィスアワー	前期水曜2限、村田研究室		
科目ナンバリング	C9320102J		
開講学期(変更しないでください)	前期		